

令和元年度白神山地世界遺産地域の管理に関する懇談会 概要報告

日 時：令和2年1月31日（金）18:00～20:00

場 所：弘前市市民会館

参加人数：37人

概 要：

事前アンケートを踏まえ、事務局より以下を説明した。

- ・遺産地域の保全管理の概要
- ・生態系の保全について
- ・入山利用等の状況について
- ・白神山地の適正な利用について

その後、参加者との懇談の時間を設けた。参加者からの主な意見・質問は以下のとおり。

- ・白神の自然を人間から遠ざけて保護するのではなく、人々が自然に親しみながら維持管理することが重要。
- ・遺産登録当初は大人数の入山が予想されたが、現状は届け出制としている青森県側でも自然は保たれている。入山禁止は、秋田県側の核心地域のみであるが、白神山地全体を入山禁止ととらえている人も多い。秋田県側も届け出制でよいのではないか。
- ・ハクビシン等の外来生物の侵入がクマゲラの生息に影響した可能性はないか。
- ・白神ラインの工事の際は専門家による事前調査を依頼し、昆虫の観察場所を設定する等の対応が必要。
- ・白神ラインの川原平～暗門の整備は早期完成を望む。暗門から先は未舗装の状態を維持してほしい。白神山地は崩れ山なので、舗装をしても維持管理に大きな経費がかかると予想される。
- ・指定ルート以外の入山も出来るようにできないか。
- ・今回のような会合は積み重ねが大事。できれば毎年、青森県側と秋田県側で会を設けてほしい。